

プレゼントが 楽しい

橋場の杉山さくさん(89歳)は、和紙の日本人形を独学で習い、これまでに作った人形はざっと300個、作った人形は寝たきりの施設



通信員 遊馬とし子 (古屋)

や病院へ送り大変喜ばれています。また娘さん夫婦が外国へ出かける際のおみやげとして国際交流にも一役買っています。

すべて手作りの細かい作業で一日一個作るのがやつと、杉山さんは「作って人にあげるのが楽しみ、器用ではないが一生懸命努力することです」と話していました。



生きがい対策で 社会奉仕

東陽地区全域の老人クラブ(東陽地区高齢者生きがい対策今関章会長)の皆さんによる、東陽病院の奉仕作業が12月6日に行われました。

病院の外来休診日に合わせ、建物の回りの草取り等年6〜7回、延べ10人程で行い、喜ばれています。

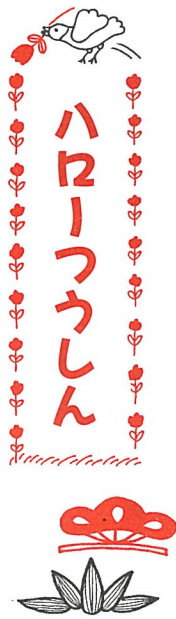
通信員 萩原岩雄(橋場)

470年の歴史を経て再建



老朽化により、富臺山宗龍寺本堂(台)が再建、完成を祝い11月23日落慶式が檀家関係者70人が参加して行われました。宗龍寺の歴史は古く享祿2年(1529年)に開基、後に3度の火災に会い、寛永2年(1625年)に建てられたものです。参道入口に建立の2基の板碑や樹齢600〜700年の「榎の木」は、町の文化財に指定され、歴史的にも大変由緒あるお寺です。

通信員 大木たき子(台)



11月2日、惶根神社(當下)の神殿及び拝殿の一部屋根替えと塗装工事が氏子衆の勤労奉仕により行われました。

先相代々集落の五穀豊じ通信員 大木朝司(當下)

勤労奉仕で改修



古代土器を再現



11月22日、古代ロマン発見教室では古代土器の野焚を行いました。

教室では国立博物館の見学、篠本城の出土品の見学や遺跡の採掘などを行い、今回土器作りを体験しました。

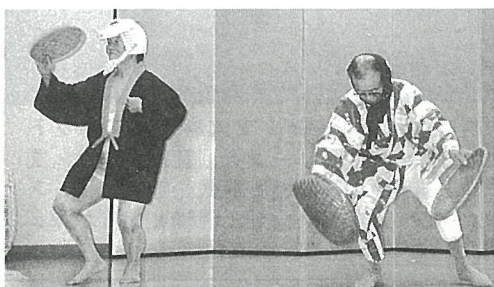
焼き盛る炎を見ながら、粘土こねから形作りまでの苦勞を思いながら土器の完成を見守りました。

通信員 伊藤嘉映(篠本3区)

和やかに親睦旅行

篠本3区では、8年に長寿会が再結成され、今回、会員相互の親睦を深めるための第1回の旅行が11月7〜8日、ゆりかもめ、房総の旅を行いました。

千葉港をゆりかもめで出航、隅田川やその近辺のビル群を望み、夜は宿で歌あり踊りありで楽しいひとときを過ごしました。多くの人々に呼びかけ来年もぜひ参加したい、車中では疲れ顔をみせず声高に話合つ声があがりました。



通信員 伊藤嘉映(篠本3区)